

平成28年度

南幌町教育委員会の活動状況に関する
点検・評価報告書

平成29年8月

南幌町教育委員会

<目次>

1	点検・評価の基本的な考え方	1
	(1) 趣旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の方法	
2	教育委員会の活動状況	2
	(1) 教育委員会の会議	2
	(2) 総合教育会議の開催状況	6
	(3) その他主な活動状況	7
3	教育行政執行方針に基づいた主な施策・事業の 取組状況、成果・課題等	8
	(1) 学校教育	8
	(2) 社会教育	15
4	まとめ	19

1. 点検・評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、南幌町教育委員会が行った点検・評価をまとめたものです。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「平成28年度教育行政執行方針」に示された主要な施策の12項目に基づき実施した事務事業としました。

- ① 確かな学力の向上について
- ② 豊かな心と健やかな体の育成について
- ③ 開かれた学校づくりと教育活動の充実について
- ④ 教育環境の充実について
- ⑤ 南幌高校に対する支援
- ⑥ 姉妹町児童交流の推進
- ⑦ 家庭教育や子育て支援活動について
- ⑧ 青少年教育について
- ⑨ 成人教育について
- ⑩ 芸術・文化活動について
- ⑪ スポーツ活動について
- ⑫ 読書活動について

(3) 点検・評価の方法

法を受けて、南幌町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行いました。

2. 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の会議

南幌町教育委員会の会議は、毎月1回（定例）原則公開を基本に開催するほか、必要に応じ臨時会議を開催しています。この会議において、5名の教育委員が教育行政の基本方針の決定など様々な案件について審議しています。

種別	期 日	付 議 案 件 等
定例	平成 28 年 4 月 20 日	(報告) ・平成 28 年度南幌町小中学校教育の推進について (議案) ・南幌町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について ・南幌町立学校職員服務規程の一部を改正する規程制定について (その他) ・中学生国際留学プログラム事業の日程について ・多良木町との児童交流学習事業の日程について ・平成 27 年度高等学校通学費補助の実績について ・平成 27 年度生涯学習センター利用状況について ・町民プール落成記念式典について
定例	平成 28 年 5 月 23 日	(報告) ・平成 28 年度小中学校児童生徒在籍状況について (議案) ・南幌町学校給食運営委員会委員の委嘱について (その他) ・中学生国際留学プログラム事業参加者決定について ・町民プールの利用状況について
定例	平成 28 年 6 月 22 日	(報告) ・財産の取得について (議案) ・南幌町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について (その他) ・第 2 回議会定例会における教育関連予算の質問内容について

種別	期 日	付 議 案 件 等
		<ul style="list-style-type: none"> ・南空知中体連陸上大会の結果について ・平成 28 年度給食センターの概要について ・多良木町との児童交流学習事業の派遣概要について ・町民プールの利用状況について
定例	平成 28 年 7 月 21 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南幌町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則制定について <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中体連空知大会結果及び全道大会予定について ・町民プール木材利用推進中央協議会会長賞受賞について
定例	平成 28 年 8 月 18 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度南幌町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告について ・南幌町教育委員会委員の辞職の同意について <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度小中学校児童生徒在籍状況について ・中学生国際留学プログラム事業の経過報告について ・南幌小学校期限付教員等の採用について ・多良木町との児童交流学習事業(訪問)の実施報告について ・中体連全道大会の結果について ・町民プールの利用状況について
定例	平成 28 年 9 月 21 日	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 3 回議会定例会一般質問について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果の公表について
臨時	平成 28 年 10 月 3 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員長を選任について ・委員長職務代理者の指定について

種別	期 日	付 議 案 件 等
定例	平成 28 年 10 月 13 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度南幌町教育文化功労賞並びに奨励賞の決定について <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なんぼろ学力向上のメッセージ」について ・南幌町農業協同組合からの給食食材寄贈について ・小学生水泳大会の結果について ・町民プールの利用状況について ・キャベッジマラソン大会の結果について
定例	平成 28 年 11 月 17 日	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半期における社会教育施設の利用状況について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南幌町立学校職員ストレスチェック実施要綱の制定について <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生通学費補助事業について ・南幌高校支援制度の充実について ・仲間づくり子ども会議について ・平成 28 年度成人式について ・各種表彰の受賞について
定例	平成 28 年 12 月 21 日	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 4 回議会定例会一般質問について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度小中学校児童生徒在籍状況について ・多良木町との児童交流学習事業受入日程について ・第 3 期社会教育中期推進計画 (案)、子どもの読書活動推進計画 (案) について

種別	期 日	付 議 案 件 等
定例	平成 29 年 1 月 19 日	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度南空知 5 町教育支援委員会判定結果について ・平成 29 年度小中学校就学予定児童生徒数について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南幌町高等学校通学費補助に関する条例の一部を改正する条例制定について ・南幌町高等学校通学費補助に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の保護者への周知について ・中体連全道新人大会の結果について ・多良木町との児童交流学習事業(受入)について ・南幌ミニバスケットボール少年団全道大会の結果について
定例	平成 29 年 2 月 16 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度教育行政執行方針について ・第 3 期南幌町社会教育中期推進計画について ・南幌町子どもの読書活動推進計画について ・南幌町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について <p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度教育関係予算主要事業(案)について <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター調理員のノロウイルス保菌による学校給食の停止について ・多良木町との児童交流学習事業(受入)の実施概要について ・中体連全道大会の結果について

種別	期 日	付 議 案 件 等
定例	平成 29 年 3 月 23 日	(報告) ・ 第 1 回議会定例会一般質問について ・ 平成 29 年度学校教職員人事異動について ・ 平成 28 年度南空知 5 町教育支援委員会判定結果について (議案) ・ 南幌町立小学校における少人数学級の編制に関する規則の制定について ・ 南幌町スポーツ推進委員に関する規則の一部を改正する規則制定について ・ 南幌高等学校支援事業補助金交付要綱の一部改正について ・ 南幌町スポーツ推進委員の委嘱について ・ 南幌町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について ・ 南幌町立学校職員服務規程の一部を改正する規程制定について (その他) ・ 南幌町生涯学習推進基本構想について

(2) 総合教育会議の開催状況

総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行され、首長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行うため、首長により設置される会議です。この会議において、町長と教育委員 5 名が教育政策の方向性を共有して推進するため協議を行っています。

期 日	協 議 事 項 等
平成 28 年 5 月 23 日	・ 新南幌町教育大綱（平成 29 年度～）の策定について ・ 小学校における少人数学級の導入について
平成 29 年 2 月 16 日	・ 新南幌町教育大綱について ・ 小学校における少人数学級の導入について

(3) その他主な活動状況

期 日	内 容 等
平成 28 年	
4 月 7 日	南幌小学校入学式／南幌中学校入学式
4 月 8 日	北海道南幌高等学校入学式
4 月 11 日	北海道南幌養護学校入学式
5 月 20 日	町民プール落成記念式典
6 月 5 日	南幌中学校体育祭
6 月 11 日	南幌小学校運動会
7 月 11 日	学校訪問（南幌小学校／南幌中学校） 各学校の教育目標や学校経営、運営方針による教育活動を理解するとともに、施設の状況視察や授業参観を実施
10 月 27 日	学校訪問（南幌小学校／南幌中学校） 各学校の教育目標や学校経営、運営方針による教育活動を理解するとともに、施設の状況視察や授業参観を実施
11 月 3 日	南幌町教育委員会表彰（南幌町農村環境改善センター） 教育文化功労賞 個人 1 名 教育文化奨励賞 個人 10 名
11 月 17 日	教育委員・社会教育関係委員合同懇話会（生涯学習センター） 生涯学習の観点に立った社会教育推進上の課題や方策について意見交換 テーマ「第 3 期南幌町社会教育中期推進計画（案）の答申について」 参集者 教育委員・社会教育審議会委員・スポーツ推進委員
平成 29 年	南幌町成人式（南幌町農村環境改善センター）
1 月 8 日	新成人 73 名参加
3 月 1 日	北海道南幌高等学校卒業式
3 月 3 日	北海道南幌養護学校高等部卒業式
3 月 10 日	北海道南幌養護学校小・中学部卒業式
3 月 11 日	南幌中学校卒業式
3 月 18 日	南幌小学校卒業式

3. 教育行政執行方針に基づいた主な施策・事業の取組状況、成果・課題等

(1) 学校教育

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
確かな学力の向上について	全国学力・学習状況調査の傾向を踏まえた学校改善プラン等に基づく組織的な取組み	<p>全国学力・学習状況調査の結果について分析・検証を行い、小学校では、「学校改善プラン」に学力向上の取組みを位置付け、結果を共有し学力の充実に努めた。</p> <p>中学校では、改善ポイントを校内研究に位置付け、日常の授業改善に努めた。</p>	<p>小学校では、課題のある領域を分析し個別指導を行ったが、更なる全体的な学力の底上げと、困り感のある児童に対するきめ細やかな指導を図る必要がある。</p> <p>中学校では、基礎学力向上のため、過去問題の活用や自己採点の組織的な分析など、より一層の学習指導の工夫・改善を図る必要がある。</p>
	道教委のチャレンジテストの効果的な活用	<p>小・中学校において、補充学習資料として活用し、課題のある分野の把握など個別指導の充実に努めた。</p>	<p>各学期や学年毎の学習内容の確実な定着を図るため、全児童生徒が参加し、結果分析から学校改善プランの検証方法の一つとして活用することが必要である。</p>
	学習規律の徹底	<p>小学校では「学習のきまり」として、学習態度、机上の用具整理等の項目を全学級で統一し、学びの質の向上に努めた。</p> <p>中学校では、各教科担任が生徒に対して、学習意欲の喚起も含めた指導を行った。</p>	<p>全ての教員が学習規律の重要性を再認識するとともに、引き続き児童生徒に対する指導を徹底し、組織的に取り組む必要がある。</p>
	言語活動の充実	<p>小・中学校における校内研修等の課題に位置づけを行い、思考力・判断力・表現力を高める取組みを行った。</p>	<p>表現するための能力を育成するとともに、言語活動の内容や学習形態等を工夫する必要がある。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	習熟度に応じた指導の工夫改善	<p>小学校では算数科や理科等における少人数指導と習熟度別指導による学習支援に努めた。</p> <p>中学校では数学科の中で指導計画に位置づけを行い習熟度別の指導を行った。</p>	<p>小学校においては、通級指導希望者が増加傾向にある。</p> <p>今後についても小・中学校においては、個々に応じた個別指導の充実を図る必要がある。</p>
	I C Tの活用を含む日常授業の改善	<p>小学校では、各教科における視覚ソフトの活用、特別支援教育での活用等を行い、授業内容の充実に努めた。</p> <p>中学校では、実物投影機やタブレット端末を活用した授業に取り組んだ。</p>	<p>児童生徒の学習意欲や学習への興味関心を高める一助となることから、全教員がI C Tを使用する技術を高めるための研修機会の充実が必要である。</p>
	家庭学習の定着	<p>自主的な家庭学習の習慣化や教科の特性に応じた家庭学習方法を児童生徒に指導するとともに、家庭に対しても保護者会や学校だより等通じて啓発を行った。</p>	<p>引き続き、家庭学習の定着に向けて、家庭との連携を図り家庭学習の重要性を周知する必要がある、家庭学習支援のための工夫改善が必要である。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	<p>外国語指導助手による基礎的・実践的なコミュニケーション能力の育成</p>	<p>小学校では、5・6年生は外国語活動の時間で言語を通して行うコミュニケーションの大切さを、1～4年生は総合的な学習の時間において英語に直接触れる機会の確保・充実に努めた。</p> <p>中学校では、英語科の全ての授業において、ALTを活用し、コミュニケーション力の育成に向けたヒアリングや英語を利用したゲーム等を取り入れた授業を行った。</p>	<p>小学校では、低学年から英語の音声やリズムに慣れ親しみ、実際の生活場面を想定したプログラムを多く取り入れることにより、実践的に英語を使う機会・能力の伸長が図られた。</p> <p>中学校では、より一層英語を活用したゲーム等を効果的に取り入れ、生徒の苦手意識を払拭し、コミュニケーション能力を高める必要がある。</p>
	<p>国際社会で活躍できる人材育成のための「中学生国際留学プログラム事業」の実施</p>	<p>カナダ・バンクーバーにおいて、2週間の短期留学を実施し、中学生9名が地元学校での英語レッスン及びホームステイによる生活体験を行った。</p>	<p>研修の成果については、報告書を作成、町広報及び町HPに掲載するとともに、「青少年健全育成を考える集い」において派遣生徒の体験発表を行うなど、広く町民に伝えた。また、帰国後も更なる英語能力の向上を目指し、英語検定の上位級を受験するなど、自主的な英語学習意欲の向上に繋がった。</p>
<p>豊かな心と健やかな体の育成について</p>	<p>学校の教育活動全体を通じた道徳教育の推進</p>	<p>小学校では副読本や資料を活用した実践的行動力を高める授業に取組み、道徳の授業公開を行った。</p> <p>中学校では、道徳教育の年間指導計画を見直し、道徳教育の実践に努めた。</p>	<p>小・中学校における道徳の教科化を見据え、具体的な指導方法等、教員の研修機会の充実及び道徳教育実践力の向上を図る必要がある。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	いじめが起きない学校経営と、スピード感を持った組織的な取組み	「いじめ防止基本方針」に則した取組みや、いじめ調査、実態把握や教育相談を行い、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努めた。	いじめは、どこの学校でも起こりうるということを再認識し、あらゆる機会を捉えて継続的に指導していくとともに、関係機関との連携を密にして、組織的に取組むことが必要である。
	いじめに対して子どもたちが主体的に考える「仲間づくり子ども会議」の開催	小・中・高校生の児童生徒を主体とした、いじめ防止の取組みとして「仲間づくり子ども会議」を実施し、「いじめ防止・根絶」をテーマとしたポスターを作成し、各学校・公共施設に掲示し啓発を行った。	今後においても、小・中・高校生が一堂に会し、「いじめの根絶」に向けた取組みとして、「仲間づくり子ども会議」を継続して実施し、児童生徒が主体的にいじめ防止に取り組むことが必要である。
	小・中・高校が連携した不登校や問題行動の実態把握と継続的な指導	小・中・高生徒指導連携会議を定期的で開催し、不登校や問題行動の児童生徒の情報交流を行うなど、校種間の連携を図った。	いじめや不登校などの問題行動の未然防止・早期対応のため、今後も継続して校種間の連携・情報交流を図っていく必要がある。
	スクールカウンセラーによる児童生徒の心のケア	週1回、中学校においてスクールカウンセラーによる生徒や保護者に対して、カウンセリングを実施した。 小学校においても定期的に特別支援教育コーディネーターとの連携を図り、カウンセリングを行った。	カウンセリングにより、不登校等の課題やその対応について学校に対して助言することができているほか、小学校と中学校の引継ぎ等における学校間の連携も図られている。 今後については、対象児童・生徒の状況に応じた対応が必要である。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	<p>体罰に係る教職員に対する校内研修や個人面談を通じての指導の徹底</p>	<p>校内研修において、教職員の体罰に係る事例研修や資料配布により体罰防止意識を高め、体罰調査の機会を生かした実態把握を行った。</p>	<p>今後も職員会議や校内研修の中で、児童・生徒への相手意識を持った教員の言動等、体罰防止の指導を徹底していく必要がある。</p>
	<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の傾向を踏まえた「1校1実践」の取組みや「早寝、早起き、朝ごはん」運動の推進</p>	<p>調査結果を踏まえた、体力・運動能力改善に向けた啓発資料を作成し、全児童生徒に配布した。</p> <p>小学校では、新体力テストの実施及び運動会やマラソン大会等の練習時間確保による運動能力向上に取り組んだ。</p> <p>中学校では、体育の授業等において、指導の方法や指示の仕方、個人に応じた課題の提示等の工夫改善を行った。</p>	<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を、授業や部活動において活用することができた。</p> <p>学力向上とも関連付けし、生活習慣の改善策等を家庭と共有することができた。</p> <p>今後も「1校1実践」や「早寝、早起き、朝ごはん」運動の取組みを進める必要がある。</p>
	<p>虫歯予防に効果のある「フッ化物洗口」の実施</p>	<p>児童生徒の虫歯予防に効果のある「フッ化物洗口」を小・中学校において、週1回、全学年で実施した。</p>	<p>フッ化物洗口の実施率は小学校が92.7%、中学校が60.1%であった。</p> <p>フッ化物洗口の効果は、数年かかるものであることから、今後も継続して実施していく必要がある。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	地元農産物の活用と南幌産給食用米の全額町費負担の実施	<p>学校給食に南幌産の米や小麦、野菜などを使用することにより、自然の恵みによって得られる食材や生産している農家に感謝の気持ちを持つことなど、食事の大切さを伝えることに努めた。</p> <p>また、南幌産米費用の全額町負担を継続して実施した。</p>	南幌産野菜の使用割合が減少したものの、南幌産米 100%使用を継続することができた。また、南幌産小麦を原料とした小麦粉の使用割合を増加させることができた。
開かれた学校づくりと教育活動	学校運営の改善に向けた学校関係者評価の実施と公表	学校の自己評価や保護者等による評価を実施し、その結果を学校だよりやホームページで広く公開した。	評価結果を公表することにより、学校運営の改善に生かすことができ、教員の意識改革や保護者の学校に対する協力意識の向上に繋がった。
	コミュニティ・スクールの導入に向けた準備	平成 30 年度の導入に向けて、推進委員会を設置し、推進委員会議のほか、研修講演会や先進校視察等を実施した。	今後においてもコミュニティ・スクールの導入に向けて、推進委員会や小・中学校等の関係機関との連携を密にして取組む必要がある。
	総合的な学習や職業体験活動等の効果的な推進	<p>小学校では、総合的な学習の時間において、地域の豊かな教育資源を活用し、世代間交流も含めた体験的な活動を行った。</p> <p>中学校では、総合的な学習の時間の年間指導計画において、体験活動や地域と連携を図った活動を行った。</p>	<p>保護者や地域の方々の積極的な協力により、勤労観を考えるきっかけとなっている。</p> <p>今後は小学校においては、各教科との授業時数のバランスが必要であり、中学校においては、3年間を見通した系統的な計画や指導が必要である。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	特別支援教育学習支援員の配置による児童生徒の学習や学校生活の支援	特別支援教育学習支援員を配置し、学習や生活の面において困り感のある児童生徒に対して、個々の状況に合わせた指導を行った。	学習面や生活面で困り感のある児童生徒に対する指導及び支援については、今後も継続して実施する必要がある。
教育環境の充実	年次計画に基づくスクールバスの更新	年次計画に基づく、スクールバス1台を更新した。	現行のスクールバス3台についての更新が完了した。
	「高校生通学費補助事業」の実施	自宅から高等学校へ通学に要する公共交通機関の通学定期購入費の2分の1（月額上限1万円）を助成し、生徒の保護者の経済的負担軽減を図った。	交付対象者の支給率は85.7%となっており、年々支給率が増加していることから、制度の定着が図られた。
南幌高校に対する支援	魅力ある高校づくりの支援	南幌高校振興協議会を通じた資格取得補助の拡大や新たに進学入学金補助及び海外研修補助を創設し支援を行った。	今後においても、南幌高校の魅力ある高校づくりに対する支援を関係機関と協議しながら進める必要がある。
姉妹町児童交流の推進	熊本県多良木町との児童交流学習事業	両町それぞれ、訪問団15名（児童10名・引率者5名）が参加し、7月に多良木町を訪問し、2月に多良木町からの訪問団を受入れ、町を挙げての家族ぐるみの交流を深めた。	訪問団の募集では13名の応募があり、抽選の結果派遣児童については男子5名・女子5名となった。 受入時には、小学校における全校集会での全児童との交流や各団体・保護者の協力もあり充実した交流が図られた。

(2) 社会教育

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
家庭教育や子育て支援活動について	P T Aや小・中学校と連携した家庭教育に関する学習機会の充実	<p>小・中学校と連携を図り、入学説明会時に講師を招いての講話や家庭教育に関する情報提供を行った。</p> <p>また、P T A連合会との共催の「青少年健全育成を考える集い」においても家庭教育に関する情報提供を行った。</p>	<p>小・中学校の入学説明会や青少年健全育成を考える集いにおいて「親学講座」を実施することにより、地域や家庭の教育力の向上に繋がった。</p> <p>また、みどり野幼稚園の参観日においても「親学講座」を開催し、幼・小・中の各時期の発達段階を踏まえた家庭教育の学習機会の充実が図られた。</p>
	生涯学習サポーターと協力した子育て支援活動の充実	生涯学習サポーターの協力のもと「すくすく広場」「子育てメソッド」などの事業を実施し、子育て支援の充実に努めた。	<p>生涯学習サポーターが子育てを支援する人材として関わり、子育ての悩みや不安を解消し、親子や参加者同士が交流する場を提供できた。</p> <p>子育て支援センター等との事業の重複を避け、参加者に魅力ある内容の検討が必要である。</p>
青少年教育について	多様な学習活動を通じた子どもたちの社会性や創造性を育む機会の確保と充実	「放課後子ども教室」や「週末支援子ども教室」など、多様な文化活動やスポーツ活動を体験する機会を生涯学習サポーター等の活用を図り実施した。	生涯学習サポーターや小学校教員、各団体などと連携を図りながら活動内容を企画することで、多様な体験活動を実施することができ、地域の教育力の向上に繋がった。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	関係団体と連携・協力したいじめ防止やネットモラルに対する取り組み	青少年の健全育成を図るため、小・中学校や関係機関、団体の代表者で組織する青少年健全育成協議会の開催や、PTA連合会と連携し「青少年健全育成を考える集い」を実施し、青少年の健全育成に対する意識の啓発に努めた。	青少年健全育成協議会において、小・中学校や関係機関、団体と情報交換を行い青少年健全育成の推進に係る事業を実施することで、地域で子どもたちを見守るための意識を啓発することができた。
	関係団体と連携した次代を担うリーダーの養成	子ども会育成連絡協議会と連携して、子どもリーダー事業などを子ども達自らが企画立案し、責任感や指導力を育成する事業を行った。	子ども会リーダーキャンプなどの各事業において、企画から子ども達が主体的に取り組むことができ、運営についても上級生が中心となって責任を持って取り組むことができ、リーダー養成が図られた。
成人教育について	生涯学習センターを拠点とした町民が自主的・主体的に学ぶことのできる講座・教室の開設や環境づくり	「さわやかカレッジ」や「ふるさと南幌みらい塾」の開催にあたり、参加者からのアンケートや自治会、運営委員会と協議を行い、魅力ある事業内容となるよう企画・検討し開催した。	「さわやかカレッジ」では、アンケートなどにより、学習活動に対するニーズを把握することで、学習内容の充実を図ることができた。 「ふるさと南幌みらい塾」では、講座終了後において参加者がサークルの発足などを行い自主的な活動に発展した。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	<p>新たな地域の人材の発掘・養成と学校教育、社会教育において活躍できる機会の創出</p>	<p>各分野で、技術や知識を持った人材を生涯学習サポーターとして登録し、「ふるさと南幌みらい塾」「放課後子ども教室」などで指導者として活用した。</p> <p>また、小・中学校において水泳や柔道、スキー授業の学習支援、陶芸サークルによる図工の時間での指導など人材活用を行った。</p>	<p>各事業において地域の人材を活用することで、子ども達との交流を図り、地域の教育力の向上に繋がった。</p> <p>小・中学校での水泳や柔道、スキー授業においては、地域で専門的な技術を持っている人材を活用することで、より効果的な授業を行うことができた。</p>
<p>芸術・文化活動について</p>	<p>学校や文化協会と連携した優れた芸術鑑賞や郷土芸能に触れる機会の拡充</p>	<p>小学校や文化協会と連携を図り、芸術鑑賞会を実施した。</p> <p>また、児童芸術鑑賞会において「南幌太鼓」を披露し、郷土芸能に触れる機会を提供した。</p>	<p>優れた芸術を鑑賞する場を提供すると共に、子ども達が郷土芸能に広く触れる機会を提供することができた。</p> <p>今後も郷土芸能を普及・伝承するため、発表機会の創出が必要である。</p>
<p>スポーツ活動について</p>	<p>年齢、体力・技術に応じたスポーツ教室や体力づくり教室、各種大会の開催</p>	<p>キッズスポーツや各種フィットネス教室などに加え、町民プールを活用したスイミングスクールを実施し、様々な年齢層や体力に応じた運動機会を提供した。</p>	<p>町民プールを活用した事業の他、プールを閉鎖する冬期間において、エクササイズ教室を新規事業として実施したことにより、年間を通して運動に親しむ機会を拡充することができた。</p>
	<p>スポーツ推進委員やスポーツ団体と連携した生涯スポーツの推進</p>	<p>スポーツ推進委員や関係団体と連携協力し各種大会の運営に取り組んだ。</p> <p>また、南幌高等学校を中心に関係団体と協力しキャベッジマラソンを実施した。</p>	<p>スポーツ推進委員や関係団体と連携協力することにより、子ども達の体力低下の問題や、高齢者の健康増進のための運動機会の拡充に繋がった。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	町民プールを拠点とした、幅広い利用者層への事業の実施	キッズ水泳や小学生・一般を対象としたスイミングスクール、アクアエクササイズなど幅広い年齢層を対象としたプール事業を実施した。	<p>新設した町民プールを活用した各種プール事業をきっかけに町民プールやスポーツセンターの利用者が増え、町民の運動機会の拡充を図ることができた。</p> <p>町民ニーズを的確に把握し、より充実した事業を進めていく必要がある。</p>
読書活動について	読み聞かせサークルと協力した本と触れ合う場の提供と読書習慣の定着	読み聞かせサークルとの連携により、はるのおはなし会や保育園、幼稚園への出張読み聞かせ、小学校での朝読書活動など様々な読み聞かせ事業を実施した。	各事業を通じて、子ども達が読書に親しむ機会を提供することにより、読書習慣の定着を図ることができた。
	気軽に集える生涯学習センター図書室の施設運営	<p>「絵本の読み聞かせ会」「一日司書体験」などを実施し、より身近に感じる図書室運営に努めた。</p> <p>また、図書検索システムや夜間開館など図書室における様々な利用サービスを広報誌やホームページなどを活用し町民への周知を行った。</p>	<p>図書室内において各事業を開催することで、図書室を身近に感じ、子どもから高齢者まで気軽に立ち寄ることのできる読書活動の拠点となった。</p> <p>また、小学校での代理貸出や図書宅配サービスなど新規事業を実施し、利用サービスの向上を図ったが、更なる制度の周知が必要である。</p>

4. まとめ

この点検・評価の実施をもとに、検討と改善を図り、施策及び事業の効果的な実施に努め、より充実した教育行政の実現を目指します。